



あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM

'95 8月号



「海軍火薬廠跡」の碑の前で

《夏期特別展関連行事開催》

『市内に残る平塚大空襲の爪痕を訪ねる』

現在、博物館1階特別展示室では、夏期特別展「44万7、716本の軌跡—平塚の空襲と戦災—」展が開催されています（8月30日まで）。この特別展の関連事業として、7月16日、「市内に残る平塚大空襲の爪痕を見よう」をテーマに戦跡見学会が開催されました。当日は、40名を越す市民の方が集まり、高砂香料・富士チタン・横浜ゴム・共済病院のほか、記念碑や焼け焦げの残る電柱などを見て廻りました。

同様の企画は、8月20日（日）にも実施いたします。午前10時に博物館前に集合してください。

また、8月13日（日）には、栗田尚弥氏を講師に迎え、記念講演会「戦争末期の湘南と平塚大空襲」を予定しております（午後1時から3時、博物館講堂）。

どちらも参加自由（無料）です。是非、大勢の方々の参加を希望しています。

周到に準備されていた平塚大空襲

平塚大空襲の際に投下された焼夷弾の数は44万7,716本にも上ります。

この投下数は、3月10日の東京大空襲の36万本余、5月29日の横浜大空襲の34万本余をはるかに越える数でした。

こうした攻撃を平塚に実施するため、米軍は19年末頃から平塚攻撃のための具体的な計画立案に入っていました。計画は、市域上空のB29による度重なる偵察飛行により実施されます。現在、その偵察飛行の第1回目は、昭和19年12月13日であることが判明しています。その後、度々B29は平塚上空に飛来し、偵察を行っています。そして、偵察により入手した写真を以後の平塚空襲の具体的な計画に利用していたのです。例えば、火薬廠をはじめとして、海軍航空廠、横須賀海軍工廠、日本国際航空工業、近江航空工業などの軍需工場が市内のどの地域に存在しているか、その広さはどれくらいかなどを偵察写真を元に確定線引きし、それぞれの工場にターゲット・ナンバー（米軍は、対日本との戦いにあたり全国の主要な軍需工場を攻撃するため番号を付けています。）を付しています【写真上】。さらに火薬廠や日本国際航空工業については、その偵察写真を大きく引き伸ばし、一つ一つの建物に番号を付け、その建物がどのような建物であり、建物内部では何が作られて、それぞれの建物がどのような関係にあるか克明に記録しているのです【写真中】。その結果、攻撃すべき対象建物を限定し、その建物を破壊するために使用する爆弾とその攻撃方法について綿密な計画が練られているのです。

攻撃は中・高高度（B29の攻撃）と低高度（艦載機による攻撃）の攻撃に分けられ、実際の攻撃では、火薬廠が中・高高度の攻撃、日本国際航空工業が低高度の攻撃を受けています。B29による中・高高度の攻撃は、市街地を含む攻撃でした。そのためには市街地のほぼ中央にあたる旧太陽神戸銀行付近が爆撃中心点になりました。この爆撃中心点をMP1といいます。このMP1の地点も偵察飛行で得られた写真の中に記入されていました【写真下】。

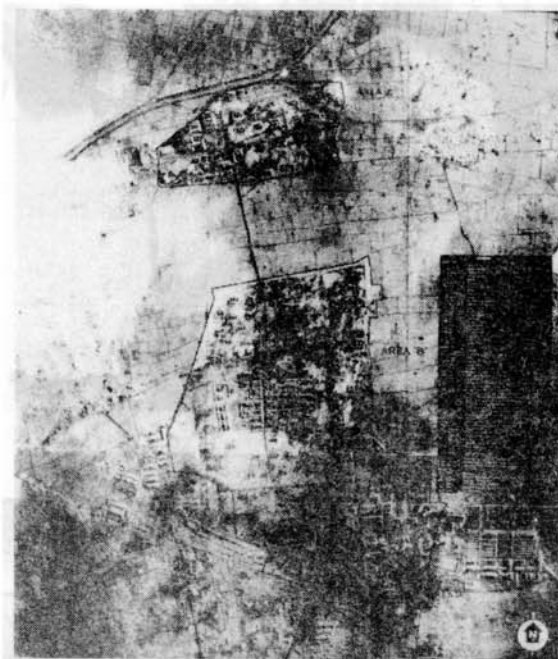
このように米軍は、平塚空襲にあたり数カ月に及ぶ調査検討の結果として、その具体的な空襲の計画を昭和20年5月3日に決定しています。その二ヶ月後の7月16日、平塚はB29爆撃機132機による大規模な攻撃を受けるのです。

【写真】

上：ターゲット・ナンバーを付した偵察写真

中：火薬廠建物全てに番号を付した偵察写真

下：MP1（爆撃中心点）の記入された偵察写真



セミのぬけがらを集めています！

●いよいよセミの季節

ようやく夏が到来し、セミの季節がやってきました。7月上旬から鳴いているニイニイゼミに続いて、梅雨明けとともに、アブラゼミ・ミンミンゼミ・ヒグラシなどが鳴き出します。8月に入ると、元気のよいクマゼミや、ちょっと寂しげなツクツクボウシの声も聞かれるようになるでしょう。

●ぬけがらは語る

長い地下生活を送ったセミの幼虫は、夏の夕方に地上に姿を現し、木の幹や小枝によじ登って、成虫になります。その最後の脱皮で残すのが「セミのぬけがら」です。

セミのぬけがらが見つかるということは、その場所でそのセミが幼虫時代を過ごしたことははっきりした証拠になります。成虫がただけでは、遠くで生まれたものが飛んできたかもしれません。その意味でぬけがらはたいへん重要な情報源になるのです。

ぬけがらを集めてみるとどんなことがわかるでしょうか。まず第一に、どんな環境で、どんな種類のセミが生き続けることができるかを知ることができます。今までの平塚の調査からは、雑木林ではアブラゼミ・ミンミンゼミ・ヒグラシ・ツクツクボウシが同じくらいに多いのに、スギ林ではヒグラシばかりが多いことが分かっています。また市街地の公園や庭では、見つかるぬけがらの95%以上がアブラゼミのものでした。都市化が進むことはセミの世界にも大きな影響を与えていたのです。

同じ場所で定期的にぬけがらを集めていくと、種類や雄雌によって出てくる季節に違いがあるかが分かってきます。100m²あたり何匹くらいのセミが生まれているかということも簡単に確かめられます。このように、ぬけがら調べはセミの数を知る上でもおおいに役に立つのです。

●求む！クマゼミのぬけがら

「指名手配中」のぬけがらもあります。それは、このへんで一番大きなクマゼミのぬけがらです。クマゼミはもともと南方系の種類で、神奈川県西部と三浦半島先端の城ヶ島までは、毎年発生していることが確認されていました。ところが、1980年の調査で平塚市内からもクマゼミのぬけがらが見つかったのです。その後、茅ヶ崎市、藤沢市、横浜市金沢区、横浜市泉区でもぬけがらが見つかりました。新しく見つかった場所は、どこも公園や人家の庭で、もしかしたら樹木とともに幼虫が持ち込まれたのかもしれませんが、クマゼミが分布を広げてきている可能性もあります。そのことを確認するためにも、クマゼミのぬけがらを見つけ、その動きを追跡する必要があります。

●今年は全国で

今まで、平塚や湘南で行われてきたぬけがら調べが今年は環境庁の呼びかけで行われることになりました。夏休みには全国で多くの人がぬけがら集めに取り組んでいるはずです。

博物館では今年もぬけがらを集めています。ぬけがらを見つけた方はぜひご協力を！

- ・見つけたぬけがらはこわれないようにビニール袋かフィルムケースに入れる。
- ・見つけた場所、日、人を書いたメモを入れる。
- ・一緒にからは入のメける。
- ・博受付るかこわように郵便で送ってください。



見つけた一つの袋れ1枚モをつ博物館に届けられない

■博物館カレンダー■

8月の行事予定

1	火	○体験学習「磨製石斧を作ろう・①」
2	水	○体験学習「磨製石斧を作ろう・②」
3	木	◎星を見る会「夏の星座に親しもう」 ＜スターウィーク協賛＞ ○体験学習「磨製石斧を作ろう・③」
6	日	○自然観察会 ＜金目＞
8	火	○体験学習「磨製石斧を作ろう・④」
9	水	地質調査会（館内）
10	木	◎星を見る会「夏の星座に親しもう」
12	土	古文書講読会 ◎漂着物を拾う会（平塚海岸） 天体観察会 ＜至：13日＞ 「土星・ペルセウス流星群」 地質調査会（館内）
13	日	◎夏期特別展記念講演会
16	水	○みんなで調べよう「セミの抜け殻調べ」
17	木	◎星を見る会「夏の星座に親しもう」
19	土	平塚の空襲と戦災を記録する会 天体観察会「スターウォッチング調査」
20	日	相模川の生い立ちを探る会 「三ツ峠山に登る」＜山梨県西桂町＞ ◎夏期特別展企画「戦跡見学会②」 天体観察会「スターウォッチング調査」
22	火	○体験学習「地形模型を作ろう・①」
23	水	○体験学習「地形模型を作ろう・②」
24	木	◎第2回夏休み自由研究相談会 ◎星を見る会「夏の星座に親しもう」 天体観察会 ＜予備日＞
25	金	○体験学習「地形模型を作ろう・③」
26	土	古文書講読会
27	日	古代遺跡を探る会
31	木	月末休館日

◎は参加自由 ○は申し込み制 他は会員制

行事に関するお問い合わせは、平塚市博物館：管理
係・学芸係 TEL:0463-33-5111 FAX:0463-31-3949

9月の行事予定

3	日	○みんなで調べよう「まとめ」 地質調査会（野外）
9	土	古文書講読会 ◎漂着物を拾う会（平塚海岸） 地質調査会（館内）
10	日	古代遺跡を探る会
12	火	博物館実習生受け入れ ＜至：20日＞
16	土	平塚の空襲と戦災を記録する会
17	日	相模川の生い立ちを探る会 「海辺の石と打ち上げ貝・茅ヶ崎」
27	水	地質調査会（館内） 裏打ちの会
30	土	月末休館日

◎は参加自由 ○は申し込み制 他は会員制

夏期特別展：7/15(土)～8/30(水)

「44万7,716本の軌跡-平塚の空襲と戦災-」

寄贈品コーナー：7/15(土)～9/16(土)

夏期特別展関連展示「平塚大空襲」

プラネリア一般投影：7/15(土)～9/3(日)

「第三惑星軌道の旅」

夏休み期間中は、水・木・土・日曜日投影

①11:00 ②14:00 <観覧料:100円>

<水・木・土の11:00は団体予約優先>

■漂着物を拾う会■

◇海岸に打ち上げられた動物・植物・人工物を集めて調べます。

■開催日：8月12日(土)

9月 9日(土) <第2土曜日：学校休業日>

■時 間：9:30～11:00

■場 所：平塚海岸

■集 合：花水川河口平塚側たもと記念碑前

■参 加：自 由

■星を見る会「夏の星空に親しむ」■

◇夏の夜空の星や惑星などを観察します。夕涼みがてら
お出かけ下さい。

■開催日：8月3・10・17・24日の木曜日

☆☆☆8月3日は、スターウィーク協賛行事です☆☆☆

■時 間：19:00～20:30

■場 所：博物館屋上<集合：博物館科学教室>

■参 加：自 由 ■備 考：曇・雨天時中止

あなたと博物館 20巻5号 通巻222号 ③3000 発行 平塚市博物館

〒254 平塚市浅間町12-41 TEL:0463(33)5111 FAX:0463(31)3949 ※この用紙は再生紙を使用しています